

【この薬の使い方は？】

● 1日に飲む量および回数

使用量は、あなたの症状にあわせて、医師が決めます。
一般的に飲む量は、次のとおりです。

販売名	服薬回数	
	1日1回	1日2回
ヘキストラスチノン錠 0.5g	1回：1～4錠	1回：半～2錠
ヘキストラスチノン散 100%	1回：0.5g～2.0g	1回：0.25g～1.0g

- この薬は、通常、1日1回飲む場合は朝食前または食後、1日2回飲む場合は朝・夕の食前または食後に飲むよう指示されます。

● どのように飲むか

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

● 飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に服用してはいけません。(低血糖を起こすことがあります。) 指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間から服用してください。

● 多く使用した時(過量使用時)の対応

- 低血糖症状(脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄れるなど)があらわれる可能性があります。
- 低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。 α -グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース)を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。なお、意識が薄れてきた場合は、医師に連絡してください。
- 低血糖症状の一つとして意識障害を起こす可能性もありますので、この薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 低血糖症状(脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄れるなど)があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
- 低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。 α -グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース)を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。なお、意識が薄れてきた場合は、医師に連絡してください。
- 低血糖症状の一つとして意識障害を起こす可能性もありますので、この薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- この薬を使用中は、血糖や尿糖などを定期的に検査する必要があります。

- 不摂生や感染症の合併などにより薬が効かなくなることがあります。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

- 特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	冷や汗、空腹感、動悸、頭痛、脱力感、手足のふるえ、ふらつき、めまい
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	階段や坂を上る時の動悸や息切れ、鼻血、動悸、息切れ、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、からだがだるい、動く時の動悸や息切れ
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み

- 以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、脱力感、ふらつき、立ちくらみ、疲れやすい、からだがだるい、発熱
頭部	頭痛、めまい、頭が重い
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	歯ぐきの出血、のどの痛み
胸部	動悸、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動く時の動悸や息切れ
腹部	空腹感
手足	手足のふるえ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる
尿	褐色尿
その他	出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	ヘキストラスチノン錠 0.5g	ヘキストラスチノン散 100%
形状	円形の錠剤（割線入り）	粉末
直径	13.0mm	—
厚さ	4.1mm	—
重さ	0.65g	—
色	白色	白色
識別コード	LRW	—

【この薬に含まれているのは？】

	ヘキストラスチノン錠 0.5g	ヘキストラスチノン散 100%
有効成分	日局トルブタミド	日局トルブタミド
添加物	トウモロコシデンブン、カルボキシメチルスターチナトリウム、軽質無水ケイ酸、タルク、ステアリン酸マグネシウム	—

【その他】

● この薬の保管方法は？

- 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保存してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

● 薬が残ってしまったら？

- 絶対に他の人に渡してはいけません。
- 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- 症状や使用方法などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サノフィ・アベンティス株式会社

(<http://www.sanofi-aventis.co.jp>)

くすり相談室

フリーダイヤル 0120-109-905

グリコラン錠

【この薬は？】

販売名：グリコラン錠 (Glycoran Tablets)

一般名：塩酸メトホルミン (Metformin Hydrochloride)

含有量：1錠中塩酸メトホルミン 250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経口血糖降下剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、肝臓で糖をつくるのを抑えたり、筋肉での糖の利用を促したりして、血糖（血液中の糖分）を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

インスリン非依存型糖尿病（2型糖尿病）

（ただし、SU剤が効果不十分な場合あるいは副作用等により使用不適当な場合に限る。）

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、重篤な乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）、あるいは、重篤で長く続く低血糖症（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄れるなど）になることがあります。患者の皆様や家族の方は、【この薬を使う前に、確認す

べきことは？]、[この薬の使い方は？] 及び [この薬の使用中に気をつけなければならないことは？] に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）になったことがある人
- ・腎臓に障害のある人
- ・血液透析や腹膜透析をうけている人
- ・肝臓に障害のある人
- ・心臓や肺に重い病気のある人
- ・飲酒量が多い人
- ・脱水症状のある人
- ・下痢、嘔吐などの胃腸障害のある人
- ・高齢の人
- ・重いケトーシス状態（深く大きい呼吸、意識がなくなる、手足のふるえ）の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、インスリン依存型糖尿病（1型糖尿病：インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術をした人、または手術の予定がある人、重篤な怪我をしている人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、衰弱している人、脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
- ・妊婦または妊娠の可能性のある人
- ・過去にグリコラン錠に含まれる成分やビグアナイド系薬剤で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・感染症にかかっている人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

一般的に飲む量および回数は次のとおりです。

- ・この薬は、通常、1日2錠より使用を開始します。維持量は効果をみながら医師が決めますが、1日の最高使用量は1日3錠です。
- ・この薬は、通常1日2～3回食後に飲むよう指示されます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に服用してはいけません。指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間から服用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）が起こる可能性があります。症状が出てきたら、ただちに医師を受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）が起こる可能性があります。症状が出てきたら、ただちに医師を受診してください。
- ・低血糖症状（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄れるなど）があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
- ・低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。なお、意識が薄れてきた場合は、医師に連絡してください。
- ・乳酸アシドーシスや低血糖の症状の一つとして意識障害を起こす可能性もありますので、この薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・この薬を使用中は、血糖値や尿糖等を定期的に検査する必要があります。
- ・不摂生や感染症の合併等により薬が効かなくなることがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、直ちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
乳酸アシドーシス にゅうさんあしどーし す	意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、考えがまとまらない、判断力の低下、深く大きい呼吸、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢
低血糖 ていけつとう	めまい、空腹感、ふらつき、手足のふるえ、脱力感、頭痛、動悸、冷や汗
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿が黄色い、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、脱力感、冷や汗、からだがだるい
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、めまい、頭痛
眼	白目が黄色くなる
口やのど	吐き気、嘔吐
胸部	深く大きい呼吸、吐き気、動悸
腹部	吐き気、空腹感、食欲不振、腹痛
手・足	羽ばたくような手のふるえ、手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる
便	下痢
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	グリコラン錠
形状	円形の割線入りの錠剤 
直径	9.0mm
厚さ	3.6mm
重さ	270mg
色	白色
識別コード	 302

【この薬に含まれているのは？】

販売名	グリコラン錠
有効成分	塩酸メトホルミン
添加物	D-マンニトール、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルメチルセルロース2910、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●廃棄方法は？

- ・地方自治体により定められた廃棄処理法にしたがってください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本新薬株式会社 (<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話番号：075-321-9064

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

ジベトスB錠

【この薬は？】

販売名：ジベトスB錠 (Dibetos B Tablets)

一般名：塩酸ブホルミン (Buformin Hydrochloride)

含有量：1錠中 塩酸ブホルミン 50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- この薬は、経口血糖降下剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- この薬は、肝臓で糖をつくるのを抑えたり、筋肉での糖の利用を促したりして、血糖（血液中の糖分）を下げます。
- 次の病気と診断された人に処方されます。

インスリン非依存型糖尿病（2型糖尿病）

（ただし、SU剤が効果不十分な場合あるいは副作用等により使用不適當な場合に限る。）

- この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえ

で効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。

- この薬は、体調がよくなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、重篤な乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）、あるいは、低血糖症（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄れるなど）になることがあります。患者の皆様や家族の方は、「この薬を使う前に、確認すべきことは？」、「この薬の使い方は？」及び「この薬の使用中に気をつけなければならないことは？」に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - 乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深く大きい呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）になったことのある人
 - 腎臓に障害のある人
 - 肝臓に障害のある人
 - 心臓や肺に重い病気のある人
 - 飲酒量が多い人
 - 脱水症状のある人
 - 下痢や嘔吐など胃腸障害のある人
 - 高齢の人
 - 重いケトーシス状態（深く大きい呼吸、意識がなくなる、手足のふるえなど）の人
 - 糖尿病性の昏睡状態になりそうな人
 - インスリン依存型糖尿病と診断された人
 - 重い感染症にかかっている人
 - 最近手術をした人、または手術の予定がある人
 - ひどい外傷のある人
 - 栄養状態の悪い人
 - 飢餓状態の人
 - 衰弱している人
 - 脳下垂体機能に異常のある人
 - 副腎機能に異常のある人
 - 妊娠中またはその可能性のある人
 - 過去にジベトスB錠に含まれる成分やビグアナイド系薬剤で過敏な反応を経験したことがある人

- 次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - 不規則な食事の人
 - 十分な食事を取れない人
 - 激しい筋肉運動をする人
 - 感染症にかかっている人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師にご相談ください。

【この薬の使い方は？】

● 使用量

使用量は、あなたの症状にあわせて、医師が決めます。

この薬は、通常、1回1錠、1日2回より使用を開始します。維持量は効果をみながら医師が決めますが、1日の最高使用量は1回1錠、1日3回です。

● いつ飲むか

この薬は、通常1日2～3回食後に飲むよう指示されます。

● どのように飲むか

コップ1杯の水またはぬるま湯で飲みます。

● 服用を忘れた場合の対応

決して2回分を一度に服用してはいけません。（低血糖を起こすことがあります。）

指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間から服用してください。

● 多く使用した時（過量使用時）の対応

乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深い大きな呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）が起こる可能性があります。症状が出てきたら、ただちに医師を受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 乳酸アシドーシス（吐き気、嘔吐などの胃腸症状、深い大きな呼吸、意識が薄れる、手足のふるえなど）が起こる可能性があります。症状が出てきたら、ただちに医師を受診してください。
- 低血糖症状（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識が薄

れるなど) があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

- 低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース）を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。なお、意識が薄れてきた場合は、医師に連絡してください。
- 乳酸アシドーシスや低血糖の症状の一つとして意識障害を起こす可能性もありますので、この薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- この薬を使用中は、血糖値や尿糖等を定期的に検査する必要があります。
- 不摂生や感染症の合併等により薬が効かなくなることがあります。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

- 特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期に現れることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

副作用	自覚症状
乳酸アシドーシス にゅうさん-あしどーしす	意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、考えがまとまらない、判断力の低下、深く大きい呼吸、吐き気、むかむかする、もどす、嘔吐、腹痛、下痢
低血糖 ていけつとう	冷や汗、空腹感、動悸、頭痛、脱力感、手足のふるえ、ふらつき、めまい

- 以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、脱力感、ふらつき
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、めまい
口や喉	もどす、嘔吐、吐き気
胸部	深く大きい呼吸、動悸、むかむかする、吐き気
腹部	空腹感、吐き気、むかむかする、腹痛

手足	羽ばたくような手のふるえ、手足のふるえ
便	下痢
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

形状	円形の割線入りの錠剤
直径	約 7mm
厚さ	約 3mm
重さ	103mg
色	白色
識別コード	識別コード：なし

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	塩酸ブホルミン
添加物	乳糖、パレイシヨデンポン、アラビアゴム末、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン

【その他】

- この薬の保管方法は？
 - ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保存してください。
 - ・子供の手の届かないところに保管してください。
- 薬が残ってしまったら
 - ・絶対に他の人に渡してはいけません。
 - ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- 症状や使用方法などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
 日医工株式会社（<http://www.nichiiko.co.jp>）
 くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120)517-215
 受付時間：9時～17時（土、日、祭日その他当社の休業日を除く）

アスプールの液(1%)、アスプールの液(0.5%)

【この薬は?】

販売名	アスプールの液 (1%) ASTHPUL Solution(1%)	アスプールの液 (0.5%) ASTHPUL Solution(0.5%)
一般名	dl-塩酸イソプロテレノール dl-Isoproterenol Hydrochloride	dl-塩酸イソプロテレノール dl-Isoproterenol Hydrochloride
含有量 (100mL中)	1.0g	0.5g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は?】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患にもとづく気管支痙攣の緩解

気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺気腫

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・カテコールアミン製剤（エピネフリン等）、エフェドリン製剤、メチルエフェドリン製剤を使用している人
- ・頻脈性不整脈のある人
- ・過去にアスプールの液に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人
- ・糖尿病の人

○この薬には併用してはいけない薬 [カテコールアミン製剤（エピネフリン等）、エフェドリン製剤、メチルエフェドリン製剤] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬はネブライザー（専用の吸入器）などを用いる吸入薬です。決して飲んだり、注射したりしないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
一般的に使用する量は、次のとおりです。

販売名	使用量
アスプールの液（1%）	1回 0.3mL
アスプールの液（0.5%）	1回 0.6mL

自分の判断で1回の使用量を増やさないでください。

●どのように使用するか？

- ・用時必要量のみを注射器にて取り出し、ネブライザーなどを用い、自然呼吸下で3～10分間エアゾル吸入してください。
- ・お子さんが使用する場合は、保護者の方が使用法を正しく指導し、保護者の監督下で使用してください。

●効果が不十分な場合の対応

喘息の発作が重篤で、この薬の効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し受診してください。場合により心停止にいたることもあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入量、1日の吸入回数等に十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠の可能性がある人は医師に相談してください。
- ・この薬には併用してはいけない薬 [カテコールアミン製剤 (エピネフリン等)、エフェドリン製剤、メチルエフェドリン製剤] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、その主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくくなけっせいかりうむちのていか	脱力感、筋力の低下、手足の麻痺、呼吸困難、口渇、意識障害（傾眠）、頻脈

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、筋力の低下
頭部	意識障害（傾眠）
口やのど	呼吸困難、口渇
胸部	頻脈
手足	手足の麻痺

【この薬の形は？】

販売名	アスプール液 (1%)	アスプール液 (0.5%)
性状	わずかに特異なおいを有する 無色澄明の水溶液	わずかに特異なおいを有する 無色澄明の水溶液

【この薬に含まれているものは？】

販売名	アスプール液 (1%)	アスプール液 (0.5%)
有効成分	d1-塩酸イソプロテレノール	d1-塩酸イソプロテレノール
添加物	塩化ナトリウム、クロロブタノール、亜硫酸水素ナトリウム	塩化ナトリウム、クロロブタノール、亜硫酸水素ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・容器から取り出した液は、速やかに使用してください。
- ・容器内に他の薬物や異物が混入しないように注意してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

(<http://www.alfresa-pharma.co.jp>)

医薬推進部

電話番号：06-6941-0306

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

アロテック吸入液2%

【この薬は？】

販売名	アロテック吸入液2% Alotec Inhalant Solution 2%
一般名	硫酸オルシプレナリン Orciprenaline Sulfate
含有量	1mL 中硫酸オルシプレナリン 20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患に基づく気管支痙攣の緩解

気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、気管支拡張症

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・カテコールアミン（エピネフリン、イソプロテレノール等）を使用している人
- ・過去にアロテック吸入液に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・冠動脈疾患のある人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・うっ血性心不全の人
- ・糖尿病の人
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬 [エピネフリン製剤 (エピネフリン、ボスミン注、ノルエピネフリン)、イソプロテレノール製剤 (アスプール液、メジヘラー・イソ)] や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談ください。

【この薬の使い方は？】

この薬はネブライザー (専用の吸入器) などを用いる吸入薬です。決して飲んだり、注射したりしないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。この薬は、通常成人には1回0.2~0.5mLをネブライザーで吸入します。症状によって吸入する量が異なりますので、決められた量を吸入することが重要です。

●どのように使用するか？

吸入器 (ネブライザー) を用いて、深呼吸しながら吸入してください。具体的な方法は医師または薬剤師とご相談ください。

●多く使用した時 (過量使用時) の対応

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。

【この薬を使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入量、1日の吸入回数等に十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬の吸入の効果が不十分な場合には、すぐに医療機関を受診してください。
- ・妊婦または妊娠の可能性のある人は医師に相談してください。
- ・この薬には併用してはいけない薬 [エピネフリン製剤 (エピネフリン、ボスミン

ン注、ノルエピネフリン)、イソプロテレノール製剤(アスプール液、メジヘラーイソ)]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合、必ず医師または薬剤師に相談ください。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血清カリウム値の低下 <small>けっせいかりうむちのていか</small>	脱力感、筋力の低下、四肢の麻痺、呼吸困難、口渇、意識障害、頻脈

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、呼吸困難、意識障害
口やのど	口渇
胸部	頻脈
手・足	四肢の麻痺
筋肉	筋力の低下

【この薬の形は？】

無色の溶液

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	硫酸オルシブレナリン
添加物	亜硫酸水素ナトリウム、エデト酸ナトリウム、塩酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避け室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師